

《定年時代》の1面トップで紹介されました

松戸市民会館のパソコン楽しもう会サロンで取材を受けました。2015年6月2日

毎月第1月曜日発行

定年時代

(平成27年7月号) (平成12年6月創刊 第182号)

http://www.teinenjidai.com

定年時代

千葉版

発行 ©株式会社新聞編集センター 2015
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町11-10
岩尾大和ビル7F
電話 03-5614-5331
FAX 03-5614-5332
Eメール teinen@teinenjidai.com

広告のお申し込みは下記代理店へ
(株)朝日広告社 03(3547)5600
(株)創通 03(3986)3291
(株)ユーアンドユ 03(6427)7268

ASA (朝日新聞販売所)は高齢社会を応援します

朝日新聞サービスアンカー

現役時代の知識と経験を社会に

パソコン「駆け込み寺」



パソコン楽しもう会は会員専用の相談会で「サロン」と呼んでいる。月1回開き、スタッフ15人ほどが待機する

現役時代に培った知識と経験を生かし、定年後に「何か社会の役に立ちたい!」と有志で立ち上げたのが松戸市を中心に活動するボランティア団体「ばそこん119」。4月、会長に就任した鈴木昭さん(70)は「これからも活動の場を拡大してスタッフの活性化に努めていきたいものです」と話す。「ばそこん119」のスタッフが150人の会員にさまざまなパソコンに関するメニューを提供する仕組み。会員も高齢者が多いため「何回も同じ質問があっても親切に教えることを心掛けています」と副会長で広報担当の石井省三さん(71)。パソコンで困ったときの「駆け込み寺」の役割を果たしていきたいと言う。(小川)

ばそこん119

丁寧な対応心掛け 団塊世代の参加促す

鈴木さんは現役時代、汎用コンピュータシステムの営業だった。「パソコンは文章を作成する程度でした。会に入って必要に駆られて勉強し、質問にも答えられるようになりました」と話す。石井さんは立ち上げたメンバーの一人。2008年には7人だったスタッフも現在17人を増やした。毎月第1火・木・金のいずれか1日、主に松戸市民会館で開いている。毎回スタッフは15人ほど待機して会員を待つ。(2面に続く)

「しかし常時動いているのは16人です。団塊世代の人に加わってほしいというスタッフを充実したいものです」と話す。IBMのシステムエンジニア(SE)やユニシスのSEなどスキルが高い人が多いという。同会が提供するメニューはパソコン教室、パソコン無料相談会、パソコンパソコン相談会、パソコン楽しもう会、訪問サポートなどがある。

食べ物、各種招待券…
プレゼント
ネットからも申し込み
チャンスは→ **定年時代** 検索
情報満載「定年時代」ホームページ
各版1面記事バックナンバー掲載

ニーズを聞いて対処

「ここでは会員のニーズを聞いて対処します。パソコンで何がしたいのか、例えばこちら理解できないこともあ

るため、「自分のパソコンを持参することを勧めています」。利用料は200円で予約不要の仕組み。



鈴木昭さん



石井省三さん

訪問サポートはパソコンや周辺機器、ネットの疑問、トラブル、セットアップなど自宅に訪問して対処するもの。出張料(松戸市内)1000円、サポート

料1時間1500円。ワンコインパソコン相談会は1人5分で500円。パソコン貸し出しは500円。次回は16日(木)午前11時から午後2時半、根木内会館(JR北小金駅かからバス)で行う。事前予約(外山090・54338・7671)が必要。石井さんは「反響が良ければ各町会で開催することも検討しています」と話

クリック
ルーシー・リー展……2面
プレゼントコーナー……4面
アスパラガスのレシピ……7面
介護・身元引受人がい……8面